



住友ゴム工業株式会社
SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.

Go for Value

アニュアルレポート
2006



住友ゴムグループは「顧客」「株主」「社員」など全てのステークホルダーにとっての価値増加—“Go for Value”—をコンセプトとし、「収益力」「開発力・技術力」「現場力」に一層磨きをかけ、持続的成長を目指します。

Go for Value

70%

石油外資源タイヤ

住友ゴムグループは、地球温暖化や石油資源の枯渇など環境問題への取り組みの一環として「エコタイヤ」の開発を強化してきました。2006年3月に発売したダンロップの「ENASAVE(エナセーブ) ES801」は、天然ゴムの使用比率を高めたほか、ゴム補強材、オイル、タイヤ補強材にも天然素材を採用し、石油外資源比率を70%にまで引き上げました。当社従来商品に比べて転がり抵抗を30%低減し、燃費の向上にも貢献しています。2008年には「97%石油外資源タイヤ」の発売を目指して開発中です。



生産設備面積比 約 **30%**



**SP SPORT
MAXX A1 A/S**

タイヤの新工法「太陽」は、部材工程から検査工程までをコンパクトに一体化させ、自動化した最新生産方式。この工法の採用により、従来型の生産方式に比べ高速ユニフォミティを50%改善。タイヤの精度・性能の向上に寄与するとともに、従来設備に比べて面積比で約30%というコンパクト化を実現するなど、投資効率面の向上も可能にします。国内工場に順次導入を進めているほか、2006年11月より稼働を開始したタイ新工場では、この太陽工法の初の海外導入を行い、高効率かつ高品質なタイヤの生産を目指しています。また、「太陽」で製造したダンロップブランドの高性能タイヤ「SP SPORT MAXX(エスピー スポーツ マックス)A1 A/S」は、レクサスに新車装着されることが決定しています。



車内騒音を

1.5 dB^{*1}

(デシベル) 低減

ダンロップの「VEURO(ビューロ)VE302」は、タイヤ内面に搭載した「特殊吸音スポンジ」で、路面の凸凹によって起こるタイヤ内部の空気の振動を抑制し、優れた静粛性を実現したプレミアムコンフォートタイヤ。お客さまに快適なドライビング空間を提供しています。「特殊吸音スポンジ」は、2006年に発売を開始した「LE MANS(ル・マン)LM703」で、世界で初めて*2採用されたダンロップ独自のノイズレス技術です。



*1 ■比較タイヤ:VEURO VE301 ■テスト車:マークX(1名乗車) ■タイヤサイズ:215/60R16 95H ■リム:16×6.5JJ
■空気圧(kPa):F220/R220 ■路面:住友ゴム岡山テストコース周回路(スムーズアスファルト路) ※JISに規格がないため、住友ゴム独自の方法でテストしました。

*2 タイヤの内側に非リング状の特殊なスポンジを装着し、ロードノイズを低減させた量産乗用車タイヤとして。2007年3月31日現在、日本では特許No.3612059等、計3件、外国では特許No.6726289等、計6件取得済。また、日本を含む世界で合計93件の特許を申請中。なお、1985年1月1日から2005年8月31日の間の特許文献、非特許技術文献、新聞・雑誌等の一般的な情報の範囲において、公報の目視スクリーニング等で調査した結果、「世界初」と推定される。この調査は住友ゴム工業(株)が第三者の調査会社に委託して実施。



若手技術者を対象とした研修制度「技術検査制度」を、40年以上も継続して実施しています。3名の若手研究者と1名の現場技術者でチームを組み、4週間にわたり製造現場での改善活動に専念する「技術検査制度」では、住友ゴムのモノづくりの技術・哲学を体得するとともに、自らが問題を発見し、改善・解決策を考える「現場力」を実践で学んでいます。さらに、2007年より「製造研修センター」を立ち上げ、製造技能を次世代に伝承・育成していくシステムの確立を目指しています。

技術検査制度を

40
年以上継続

国内の全6工場で、埋立廃棄物を全廃棄物量の0%にする「完全ゼロエミッション」を達成。さらに2006年11月には、住友ゴムグループの海外の4工場すべてが埋立廃棄物を1%未満に抑える「ゼロエミッション」を達成しました。ゼロエミッション達成には、従業員一人ひとりの環境保全に対する高い意識が不可欠であり、今後も引き続き日々の環境管理や改善活動を強化し、持続可能で環境負荷の少ない社会の構築に貢献していきます。



0%

埋立廃棄物